

2019年度一橋大学政策フォーラム

社会保障が 目指すべき方向

講演者・パネリスト

総合司会



中嶋邦夫

ニッセイ基礎研究所
保険研究部主任研究員



佐藤主光

一橋大学大学院経済学研究科教授
HIAS Health センター長



三原 岳

ニッセイ基礎研究所
保険研究部主任研究員



小塩隆士

一橋大学経済研究所教授

日 時 令和1年12月10日(火)午後2時～5時35分(午後1時30分受付開始)
会 場 一橋講堂 2階 中会議場 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内

〈神保町駅 半蔵門線・都営新宿線・都営三田線 A8・A9 出口 徒歩4分〉
〈竹橋駅 東西線 1b 出口 徒歩4分〉

お申込み方法 下記アドレスよりお申込み下さい ※定員(200名)になり次第締め切ります。ご了承ください。

<https://hrs.ad.hit-u.ac.jp/v33/entries/add/273>

参加費 無料



主 催 一橋大学
共 催 株式会社ニッセイ基礎研究所／一橋大学経済研究所 世代間問題研究機構／
一橋大学社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター(HIAS Health)
お問い合わせ 一橋大学経済研究所 世代間問題研究機構

Email: forum191210@ier.hit-u.ac.jp



2019年度一橋大学政策フォーラム

社会保険が 目指すべき方向



現在、年金・医療・介護など社会保険改革が、政府が取り組むべき長期的な課題となっている。本フォーラムでは、産学研交流を進めているニッセイ基礎研究所と一橋大学経済研究所、一橋大学社会科学高等研究院医療政策・経済研究センター（HIAS Health）という3機関の研究者が、最新の研究成果に基づいて現行の社会保険制度が抱える問題と目指すべき改革の方向を多角的に検討する。そして、財政健全化や「働き方改革」との関連性も視野に入れながら、現実的な政策提言の発信を目指す。年金・医療・介護それぞれのテーマで基調報告を行った後、パネル・ディスカッションによって改革の方向性を分野横断的・総合的に議論する。

プログラム

13:30-	開場・受付開始
14:00-14:05	開会の挨拶 渡部敏明 一橋大学経済研究所長
14:05-14:10	趣旨説明 小塩隆士 一橋大学経済研究所 教授
	第1部 基調講演
14:10-14:40	「公的年金の見通しと課題」 中嶋邦夫（ニッセイ基礎研究所） 日本の公的年金制度は、少子高齢化の進展に従って将来の保険料を引き上げる方式から、保険料の引上げを打ち止めにして全受給者の給付水準を調整する（実質的に引き下げる）方式へと、大きく転換した。今年6月に話題になった金融審議会・市場ワーキンググループの同報告書も、公的年金の給付調整を踏まえた自助の充実が必要としている。本報告では、今年8月に厚生労働省が公表した最新の将来見通し（財政検証結果）を確認した上で、年内の取りまとめに向けて議論が進んでいる次期年金改革の案や次期改革後も残るであろう課題について検討する。
14:40-15:10	「医療と地方財政：地域医療構想・医療費適正化における地方自治体の役割」 佐藤主光（一橋大学） 国民医療費（2018年度）が42.6兆円に上るなど医療費の適正化が急務である。この適正化は地方財政と密接に関わる。2018年度から市町村国保（国民健康保険）が都道府県化された他、地域医療構想、医療費適正化計画など都道府県が担うべき役割は大きい。報告では改革を進める原動力として地域差及び医療費の「見える化」を強調する。見える化で地域特性では説明できない地域差は解消に向けた努力を促す。そのためには地域住民のコスト意識の喚起も欠かせない。市町村国保における赤字補填を見直し医療費＝給付と保険料＝コストを連動させることを提言する。
15:10-15:40	「介護保険制度の現状と課題」 三原 岳（ニッセイ基礎研究所） 創設から20年を迎える介護保険制度は2つの「不足」に直面している。具体的には、要介護者の増加に伴う財源の「不足」に加えて、生産年齢人口の減少を受けた介護人材の「不足」も一層、深刻化すると見られており、こうした制約条件の下、認知症ケアや医療・介護連携の充実などを図る必要に迫られている。一方、政府は3年に一度の2021年度制度改正に向けて、高齢者が気軽に運動などを楽しめる「通いの場」の充実やケアプランの有料化などを模索している。本報告では、想定される制度改正の概要を紹介するとともに、一層の改革に向けた論点や選択肢を提示する。
15:40-16:00	休憩
	第2部
16:00-17:30	パネルディスカッション 中嶋邦夫・佐藤主光・三原 岳（司会）小塩隆士 社会保険の各分野をまたがる課題や、マクロ経済・「働き方改革」との関連性など
17:30-17:35	閉会の挨拶 手島恒明 ニッセイ基礎研究所代表取締役社長

注：受付時に質問用紙を配布いたします。質問のある方は記入した用紙を、15時50分までに受付までお持ちください。

パネルディスカッションでは、その質問も適宜取り上げ、議論します。